

ごあいさつ

本展は、2019年度 enoco の学校「こどもアート学科」の受講生たちによる作品展です。

「こどもアート学科」2年目となる2019年度は、〈造形〉と〈しこう実験〉の2コースを開講し、月1～2回程度実施してきました。〈造形〉コースでは、今年度から講師を2名に増やし、学校や家庭では体験する機会の少ない素材や技法を積極的に取り入れ制作をしてきました。また、〈しこう実験〉コースでは、「なんだこれ?!サークル」のメンバーとして、年間を通じて誰もが驚く「なんだこれ?!」を思考し、試行する実験を繰り返してきました。

各コースともに10名程度の少人数制で、1回1時間半～2時間程度と短い時間の中、集中して制作に取り組んだこの1年間。個人制作、グループ制作の中で、受講生たちが、みずからの想像力、思考力を存分に活かして作りあげた作品をぜひご覧ください。

2020年3月
大阪府立江之子島文化芸術創造センター

○次年度の「こどもアート学科」受講生募集について

2020年度「こどもアート学科」は6月頃募集をスタートし、夏頃開校予定です。

募集詳細は、内容が決定次第 enoco ホームページに掲載します。

募集スタートは enoco メールニュースでもお知らせします。この機会にぜひ、ご登録ください>>>>



○2019年度「こどもアート学科」プログラム一覧

7月20日(土) 造形/しこう共通プレ・ワークショップ(北野) 〈イチコーミング ～そのへんに落ちてる面白いモノを拾ってみる〉

【造形】

2019年

8月17日(土) ○△□だけで作る、幾何学模様の手ぬぐい(野原) / 8月24日(土) 好きな動物に変身!カラフルなお面を作ろう!(小池)

9月28日(土) 家族の肖像彫刻を陶器で作ってみよう(第1回) まずは設計図になる箱を作ろう!(小池)

11月2日(土) 家族の肖像彫刻を陶器で作ってみよう(第2回) 粘土を新聞紙の芯につけて肖像彫刻に挑戦!(小池)

12月7日(土) enoco の窓を貼り絵で変身!(野原)

2020年

1月25日(土) enoco で展示されている作品の模写をしよう。よく見たら、今まで見えなかったものが見えてくる?(小池)

2月1日(土) 顔料で描く、新しい阿波座の街(野原)

2月15日(土) 作品発表会!自分たちの展覧会を作ろう(第1回) 沢山の人の見てもらうために展示案内のチラシを作ろう(小池)

3月7日(土) 作品発表会!自分たちの展覧会を作ろう(第2回) どこにどの作品を置いたらよく見えるかな?(小池)※

【しこう実験】

2019年

7月20日(土) こどもアート学科共通プレ・ワークショップ / 8月17日(土) 1回目 誰もやってないことをやってみる

9月28日(土) 2回目 ひっくりかえしてみる / 10月12日(土) 3回目 やりにくい方法でやってみる

11月2日(土) 4回目 同じことを繰り返す / 12月7日(土) 5回目 大きさを変えてみる

2020年

1月25日(土) 6回目 よくわからない名前をつける & 怒られそうなことをやってみる

2月15日(土) 7回目 ふつうのことをわざわざやってみせる & ほとんど何もしない

3月7日(土) 8回目 発表会の練習※ / 3月28日(土) 9回目 発表会 @enoco※

(※)→新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点より実施中止

○講師プロフィール

北野 諒 | 大阪成蹊短期大学 幼児教育学科 講師

和歌山大学教育学部卒業、京都造形芸術大学大学院修了。学生からよく「先生は先生じゃないからな」と言われる34歳。専門は美術教育学のはずであるが【モノ】を作ったり描いたりあまりせず、みる・感じる・考える・話す・聴く・試す・遊ぶ……といった日常の何気ない【コト】の創造性を研究テーマとしている。

小池 一馬 | 美術家

1980年生まれ、大阪府在住。日本大学芸術学部美術学科彫刻専攻卒業。近年は架空の古代遺物としてのセラミック彫刻や、茂みをテーマにした水彩作品を制作している。主な展示に、TEZUKAYAMA GALLERY(大阪,2017,14)、VOLTA 12(バーゼル,2016)、VOLTA NY(ニューヨーク,2016)、AISHONANZUKA(香港,2016,13)、AISHO MIURA ARTS(東京,2013,12,11,10,09)での個展、「CAMA」(VOU,京都,2019)、「江之子島芸術の日々2017 他方法」(enoco 他,大阪,2017)などの展覧会への参加がある。

野原 万里絵 | 美術作家

1987年大阪生まれ2013年京都市立芸術大学 大学院絵画専攻油画修了人が絵を描く動機やプロセスに関心を持ち、自身が制作した道具をもとに描いた絵画作品を発表している。また、国内外でのレジデンス経験やワークショップでの他者との協働制作を通して、新たな絵づくりの可能性を探求している。主な展覧会に、「絵画の現在地」(500m 美術館 / 札幌 / 2018)、個展「□△も積もれば○となる」(あまらぶアートラボ / 兵庫 / 2017)、個展「黒をめぐる話」(新潟市新津美術館 市民ギャラリー / 新潟 / 2017)への参加。

岩淵 拓郎 | 編集者

こんにちは、プチオウのいわぶちです。おもに本をつくる編集(へんしゅう)という仕事をしています。好きなものはアートです。友だちを家によんでパーティーをすることが好きです。好きな食べ物はぎょうざとマンゴです。食べられない食べ物はサンショウです。いろんなことにきょうみがありますが、勉強も運動もあまりとくいじゃありません。「ブッチーぶちょう」とよんでください。